



さあ、答え合わせをしよう！

第 35 週目 3/22 行ってみよう～群馬県（ぐんまけん）からの出題

※ココを見てね！▶行ってみよう～群馬県（ぐんまけん）

1. 群馬県（ぐんまけん）は、なんという平野（へいや）にありますか？

正解：③関東平野（かんとうへいや）

関東平野（かんとうへいや）は、本州の東部に位置（いち）し、茨城県（いばらきけん）、栃木県（とちぎけん）、群馬県（ぐんまけん）、埼玉県（さいたまけん）、千葉県（ちばけん）、東京都（とうきょうと）、神奈川県（かながわけん）の1都6県にまたがる広大な平野（へいや）です。もう答えは出ましたね。正解は③です。ちなみに、仙台平野（せんだいへいや）は宮城県（みやぎけん）の主要部（しゅようぶ）に広がる平野（へいや）、また、庄内平野（しょうないへいや）は、山形県（やまがたけん）の日本海側、最上川（もがみがわ）流域（りゅういき）に広がる平野（へいや）です。

2. 古墳時代（こふんじだい）の火山の噴火（ふんか）によって火砕流（かさいりゅう）にまきこまれた人々や馬がみつかった遺跡（いせき）は？

正解：①金井東裏遺跡（かないひがしうらいせき）

群馬県（ぐんまけん）では、1万か所をこえる遺跡（いせき）と、1万3000基（き）以上の古墳（こふん）がみつかっています。また、古墳時代（こふんじだい）に起きた噴火（ふんか）の火山灰（かざんばい）で埋（う）もれた、世界的にもめずらしい遺跡（いせき）がみつかっています。正解は、①金井東裏遺跡（かないひがしうらいせき）です。火砕流（かさいりゅう）にまきこまれた人々や馬がみつかったということは、大きな災害（さいがい）から逃（に）げおくれたことがわかります。ずいぶん怖（こわ）かったでしょうね。過去（かこ）の災害（さいがい）から学び、日ごろから防災（ぼうさい）につとめましょう。

3. 上白井西伊熊遺跡（かみしろいにしくまいせき）からは、瀬戸内技法（せとうちぎほう）で作られたものが見つけられました。それは、何かな？

正解：③石器（せっき）

正解は、「お宝ベスト5」1つ目に書かれています。そう、③石器（せっき）です。今から約2万年も前の旧石器時代（きゅうせっきじだい）の人々が、群馬県（ぐんまけん）から遠（とお）くはなれた瀬戸内（せとうち）地方の石器（せっき）を使っていたなんて、不思議（ふしぎ）な話ですね。でも、すぐれた技術（ぎじゅつ）で作られた石器（せっき）は、だれもがほしがったことでしょう。考古学（こうこがく）では、土の中から出てきたもので、人の動きもわかります。

4. どこか愛嬌（あいきょう）のある、高さ36.5 cmの人形土器（ひとがたどき）が見つかった遺跡は、どこ？

正解：③有馬遺跡（ありまいせき）

「お宝ベスト5」4つ目を読むと、わかりますね。しかし、これはいったい何でしょう？ おサルさん？ それとも人間でしょうか？ どう見ても、埴輪（はにわ）や土製品（どせいひん）にはしか見えないのですが、実はコレ、人の形をした「土器（どき）」なんです。土器（どき）といってもお鍋（なべ）として使われたものではなく、祭りなどで使われたと考えられています。とてもユニーク。こうした土器（どき）は、ほかの地域（ちいき）にもあるので、都道府県（とどうふけん）のお宝チェックもしてみてね。

5. 国宝の「埴輪武装男子立像（はにわぶそうだんしりゅうぞう）」が見つかった地域（ちいき）は、群馬県の何市ですか？

正解：②太田市（おおたし）

「お宝ベスト5」5つ目の写真を見てください。甲冑（かっちゅう）で身をかためた完全武装（かんぜんぶそう）の武人（ぶじん）は、どこかおだやかな表情（ひょうじょう）です。きっと、心のやさしい人がモデルなんですね。細かい細工（さいく）がほどこされており、国宝（こくほう）に指定されています。人物埴輪（はにわ）が出土（しゅつど）したのは、③太田市（おおたし）が正解です。